

現場だより

一般国道260号（豊漁橋）橋梁補強工事

橋桁の補強の工事をしています。

着手前



足場組立

P2足場組立

P1足場組立

橋脚当て板補強

墨出し

塗膜除去

ボルト穴削孔



型紙を使用してボルトの位置をポンチで印をします



前日に専用の塗装剥離剤を塗布して翌日に塗膜を剥がす



ボルト削孔機械（アトラー）を使用して、印をした所に合わせて削孔する。

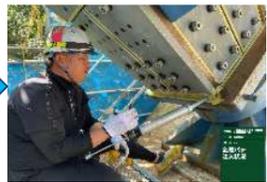
当て板補強取付

金属パテ注入

ボルト削孔機械



チェーンブロックを使用しながら1枚ずつ取付をする。取付終わり次第高力ボルトで締付ける



当て板と鉄板の隙間に金属パテを注入して隙間を無くす



通称アトラーと言う

塗装

防食下地

下塗り

上塗り

完成



下記の工程で塗装していく
素地調整⇒防食下地1層目⇒防食下地2層目⇒ミストコート⇒下塗り1層目⇒下塗り2層目⇒中塗り⇒上塗り

予定

9月19日 中間検査

9月24日～ 足場解体

水平力分担構造・段差防止装置

鉄筋探査

アンカーボルト削孔

アンカーボルト定着完了

アンカーボルト定着完了

VFORM使用してのアンカーボルト位置の測定



橋脚のコンクリートの中の



コンクリートの中の鉄筋に当らない所に穴をあける



アンカーボルトの位置を確認して、ブラケットを製作する

ブラケット取付

段差防止装置設置状況

高力ボルト締付け

水平力分担構造取付完了

段差防止装置設置完了



脚対傾構座屈拘束ブレース

既存ブレース撤去

既存ブレース引上げ

ブレース材料荷下ろし (P1側)

ブレース取付 (P1側)

ブレース取付 (P2側)



チェーンブロックを使用している人力での撤去



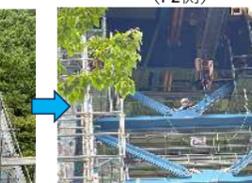
人力で移動後、クレーンで撤去材を吊り上げる



P1側は車両が橋脚の近くまで行けない為橋の上からクレーンを使用している荷下ろし



荷下ろした材料は、チェーンブロックを使用して人力での取付



P2側は車両が橋脚の近くまで行けたのでクレーンを使用している取り付け

協力業者及び近隣の企業の皆様のおかげで、無事に事故もなく工事を進められてこれました。あと中間検査が終わり次第、足場の解体が有ります。非常に危険な作業を伴いますので、作業員一同安全第一で作業を進めていきます。

ご安全に!!

現場代理人・監理技術者

北川

現場担当者

児玉

